

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360

RYOSUKE OKADA

c/o KANAZAWA CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

9-13 OYAMA-CHO, KANAZAWA, JAPAN



NO. 5 (October 15, 1966)

ガバナー月信 第5号 (昭和41年10月15日)

第360区 各ロータリークラブ

会 員 殿



国際ロータリー第360区ガバナー

岡 田 良 介

A BETTER WORLD THROUGH ROTARY

地区大会盛況裡に終る

District Conference ended prosperously.

1966年……われ等の地区年次大会は、10月8日の前日懇談会に引つづき9、10両日にわたる大会を合わせて、滞りなく終了いたしました。

私は謙虚にかまえても、この大会は多くの収穫をあげつつ大きな成功がおさめられたと確信するのであります。

大会の前後を含めて連日すばらしい秋晴れの好天に恵まれたことと、ホストクラブ岐阜南ロータリークラブの会場設営、運行、その他に亘って細心の配慮のつくされたことが、大会のムードを一層もりあげるに役立ったことも確かであります。

R. I. 会長代理宮脇先生を始め、各地区のバスターガバナー、現ガバナー等、かつてない多くの顔触れが揃って、まさに錦上華を添えていただいた。

更に輝かしい喜びは、参加者2,300名とい

う、単独地区大会としては空前の新記録の打ち立てられたことであります。

かくして、この大会が目的とする、友好と親睦を深めるための親和の大グラウンドが、いかに展開されました。

ロータリーの発展を討議し、ロータリーの綱領を推進するための、あらゆる研究が極めて有効真摯に遂行されました。

またロータリーの奉仕の理想と活動を一般社会に広く知らしめて、ロータリー精神の理解と拡大を計るに、多くの役割を果たすことも出来ました。

この価値ある大会を形造って下さった各位に、改めて深甚なる敬意と謝意を表します。

皆さん、大会は終わりましたが、ロータリーの生命は永遠であります。ロータリアンの使命は無限であります。

“ロータリーでより良き世界を”のこの一語に集約された高遠なる奉仕の大理想顕現のために更に、清新にして勇氣ある行動の展開を計ろうではございませんか。

この大会はロータリー最大の行事であります。ご参加出来なかった方々のために、大会の状況を出来る限り知っていただくため、前号に引つづき、この月信を特別編集しましたので熟読が願いたい。

地区大会のプログラムを追って

——地区年次大会の概況——

A general outline of District Conference.



—高橋大会委員長の開会の辞—

大会は、岐阜県民体育館に開催された。岐阜市郊外田園の真只中に、新装のモダンな高層建築を誇る県庁舎と相對して、たしか昨年竣工を見たものである。階下、階上、卓を前にして2,300人の参加者が向い合っても決して窮屈を思わせない。

屋外には駐車場が広々と取られているし、俗界を離れた感じの環境と会場と、大会の前夜を通じて秋晴れの好天に恵まれ、大会のムードは一段と盛りあげられた。COMPANIONのたすきをかけたロータリー夫人やボーイスカウトが、会場入口に居並んで参加者を迎えた。

場内の照明は好評、余分な装飾を省略したのは淡白。ステージの前、上の天井に岐阜名産のカラカサの白いのが15列9段に、間接照明を兼ねて、円の角の造形美を成して清楚な美しさである。登録は9時～10時。

開 会

10時、渡辺大会幹事によって開会宣言。インターアクト会員らしい学徒が国旗を捧持して入場、国歌とソング奉仕の理想が、岐阜南R.C.の大森会員のタクトで高らかに斉唱されたのは印象的演出であった。高橋大会委員長の開会の辞。ガバナーによる来賓の紹介。ホストクラブ白木会長、松尾岐阜市長の歓迎の辞と相續いて行なわれ、次いで、

新クラブの紹介

この1カ年に誕生した新クラブは、名古屋港、常滑、飯島、珠洲、戸倉上山田、津南、多治見西、朝日、豊橋南、高山西、岐阜長良

川、および関、飯田南の13クラブである。紹介を受けたクラブは一団となって起立、応答したが、とたんに幟を上げクラッカをとばして自己表示した戸倉上山田クラブ、旭日の小旗をふって立った旭クラブ、ただ一人か二人の起立であった飯島クラブなど印象に残るものであった。これが終って、

ガバナー挨拶

岡田ガバナーは約20分間にわたって、別項の要旨の演説を行なった。健康、特に口述の障害を案じられたが、克服の努力を続けられた。

このあと岐阜県知事代理の祝辞があつて、

R.I. 会長代理宮脇バストガバナー挨拶

10時50分から11時30分にわたる約40分、別項の如く講演が行なわれた。

同氏は「ロータリーは数ではない質である」「小さなクラブを弱体といえぬ。大きなクラブにも弱体化がある」「インターアクトクラブの結成は刻下の急務である」など感銘深い強調であった。

物故会員に対し黙禱

昨年の大会以後1カ年に亡くなられた31会員のご氏名を岡田ガバナーがよみあげ、弔意が述べられ、総員起立、奏楽のうちに、けいけんなる黙禱が捧げられた。

信任状委員会報告

委員長戸田バストガバナーから行なわれクラブ総数90、提出90クラブ、選挙人数197名と報告がなされた。

引續いて、大会幹事によって、西独マッチド151地区ガバナー始め各方面から祝電が披露された。

音楽……岐阜県立壱学校鼓笛隊

11時40分から約20分間、可憐な生徒40名位の編成によって「大空晴れて」など6曲が演奏されたが、全会場に多大な感動を与えた。

この鼓笛隊は昭和39年、岐阜西クラブの寄贈によって組織されたもので、今日の成長を見るまでには、先生と生徒の心と血の通った涙ぐましい苦心と、努力が重ねられたのであろう想像に余りあるものを痛感、一同は心を打たれ、終るや万雷の拍手と絶讃を博した。

昨秋、岐阜国体にお成りの両陛下に御前演奏をしたが、皇后さまは特に「きく耳をもた

ぬ人らの鼓笛隊むねふたかかる 思いこそすれ」と御歌を賜った由。

岡田ガバナーは第2日の感想において「この子等の前途永遠に幸あれかしと念じて止まない」とあったが誰れも等しく同感であったろう。

この演奏のあと、「愛の灯」なる據金が会場にはかれたところ、後刻発表によると約20万円の浄財が集った。かくして大会第1日の午前の部は、この鼓笛隊によって最高潮に達して終わった。

13時まで昼食のため休憩。この間別室において選挙委員会および決議委員会が各開催された。13時再開。

特別講演

今東光師は、ぼう頭「平和的でないこの人物が、平和を願望するロータリーに出まして」と前置きして、滔々55分の時間一杯を期待に反せず、痛烈に快談をぶたれた。

陽気も良し、腹具合も頃合いの絶好の眠気も、東光さんによって、ふっとんでしまった恰好、タイミングも講師も上々と好評。

登録委員会報告

水谷登録委員長から発表。

出席クラブ	会員	家族	計
地区内	91	1,762名	414名 2,176名
地区外	17	32名	21名 53名
来賓			65名

総合計 2,294 名の登録。単独地区大会としては最高のレコードと発表されて満場の拍手が沸いた。この数字も本大会の貴重な収獲となった。

出席優秀クラブの表彰

前年度1カ年の出席優秀なる栄光のベストテンがガバナーによって発表され、各会長は壇上に上がり、面目を施し拍手を浴びた。この10位に入選するには並々ならぬ努力が求められたことであろう。敬意を表さねばならない。(カッコ内は前々年度の成績)

- 1位 駒ヶ根(3位)、2位 桑名(11位)
- 3位 名古屋東(6位)、4位 土岐(1位)
- 5位 岐阜西(8位)、6位 高岡(15位)
- 7位 豊橋北(7位)、8位 犬山(19位)
- 9位 多治見(32位)、10位 松本南(4位)

こんど表彰をうけた10位までのうちには昨年の10位までが6クラブあることがわかる。

良いところはいつも良い傾向である。

ガバナーは「出席率をもってのみクラブ活動の尺度とすることは早計であるが、出席率はクラブの行動力のひとつの指針と見るに足る」と…………。

ガバナーノミニ選挙報告

委員長九鬼バストガバナーから選挙委員会は、かねて指名委員会推薦の通り、ガバナーノミニーとして近藤、山中両君を正式に選挙したと報告。岡田ガバナーから紹介があり、両君からそれぞれ挨拶が行なわれた。

第360区 近藤友右衛門君

名古屋ロータリークラブ

第361区 山中 義一君

岐阜ロータリークラブ

記念品贈呈

宮脇 R.I. 会長代理ご夫妻に対し、恒例によって記念品が贈られた。岐阜南 R.C. 会員ポチャートおよび山田光雄両君の二人の可愛いお嬢さんから手渡された。引続き神野直前ガバナーにも記念品が贈呈された。

ロータリー交換学生挨拶

高瀬弥平君(京都大学在学中)…西独

米山記念奨学生挨拶

王 宝水君(東大大学院在学中)…在日
このあと15時15分から25分間休憩し、この間、部門別協議会のため各会場に移動、参加者の一部および家族は市内観光、或いは友愛の家に、抹茶席に、ショッピングに分散。

懇親晩さん会

部門別協議会出席者の帰着を待って定刻の18時より、整備された本会議場にて開催。心尽しの岐阜料理に舌鼓。ここに使われた徳利と盃、湯呑は記念にお持ち帰り下さいとあった。ロータリーマークの入ったドビン美しいアと思ったとたん、お持ち帰り下さって結構、その節は300円をボックスにという次第で、喜ばれて一石二鳥の名案である。余興には、この地に370年の古い伝統をもつ「郡上踊」いまは県の無形文化財となっている。このほか飛騨白川民謡、豆千代さんの歌謡など。散会は19時。

今日の大会第1日を、満ち足りた一行は、それぞれに、さわやかな夜の岐阜市内へ、宿舎へ向った。

— 大会 第2日 —

今日も絶好の秋晴れとなった。大会第2日の本会議場は自由席の設定である。9時ロータリーソング "R—O—T" によって幕があく。先づ

決議委員会報告

決議委員長盛田パストガバナーによって別項の9議案が順次上程、ガバナーはそれぞれ賛否を語り、全議案いずれも原案の通り採決された。次いで

部門別協議会の報告

各リーダーから第1日の部会におけるデスクッションの模様を報告されたが、その内容は別項の通りである。

いずれの報告にあたったリーダーも、口を合わせたように、協議会の持ち時間の1時間45分(15時55分～17時40分)では、充分討議を尽くせなかったと付言されたが、地区大会の華ともいふべき部門別協議会には、従来からこの憾みはある。地区協議会の場合も2時間であったが、同様の声が聞かれた。要望にこたえて今後は今少し延長を考えるべきではなかろうか。

郡上踊りの講習

30分間にわたって全員、会場の中を輪になって "郡上踊り" の手ほどきを受けつつ和やかな踊大会の形となった。地区大会には前例のない新趣向で、指導をうけた全員に免許状の出たのも興。

宮脇パストガバナーは感想の中で「催しの良しあしは別として、自分も踊って見たが、簡単なようでなかなか難しい、足に気をとられていると、手がおるすになる、ロータリーもこんなものではなかろうか、根気を続ければ私にもこの踊りが身に付けられるであろう」と極めて含蓄のある講評に引用された。

参加クラブ代表挨拶

最遠隔離の故もあって、北海道の嵯峨旻君(釧路 R.C. パストガバナー)が一同を代表してお礼と讃辭を述べられた。

次期開催地決定

第360区

名古屋西 R.C. のホストにて名古屋市にて

第361区

高岡 R.C. のホストにて高岡市にて決定の旨ガバナーより報告あり、両クラブ会長から答辭に併せて歓迎のあいさつが行なわれた。

次いで宮脇 R.I. 会長代理から講評がなされ、引続き岡田ガバナーから大会を終るに当たっての感想が別項の如く述べられた。以上をもって総べてのプログラムは終わった。

閉 会

溝畑大会副委員長の閉会の辭が終ると、とたん、来年は「高岡で会いましょう」「名古屋で会いましょう」の電光掲示が、ステージの左右に浮んだ。演出効果満点の鮮かな閉幕であった。会場の時計は正に12時。

"さようならロータリアン" のメロデーは、岐阜への惜別を深めていつまでも耳に残った。

印象あれこれ

大会は大成功裡に終わった。ホストクラブ岐阜南ロータリークラブの物心の犠牲は大きからう。それが如実に価値ある大会となって表現された。スピーカーは卓越していた。

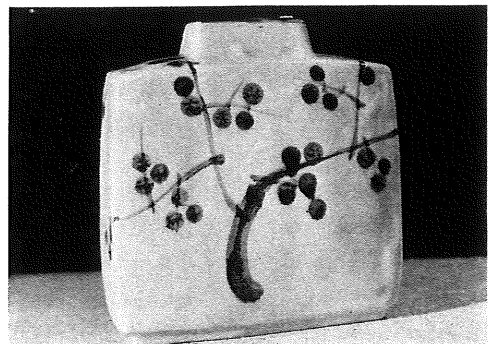
特設の友愛の家も親和のグラウンドとしての役目のひとつを大きく果たした。

鵜飼の模擬実演、関の孫六で知られる刀鍛冶の実演、陶器の絵付など、お国自慢が興味をひきつけた。

抹茶席も、さすがお茶どころ、永楽の茶道具が新鮮で美しかった。銘菓 "柴舟" の味覚は、いつまでも口に残っている。

記念品の加藤卓男氏の作になる李朝風の染付「笑り柿」の扁壺は傑作である。作者は特選と北斗賞2回の輝かしい陶歴の持主。

岐阜大会の思い出と共に、名実いい記念となることであらう。



— 記念品「笑り柿」 —

地区年次大会に臨んで

——大会におけるガバナー挨拶要旨——

Governor's Greetings at District Conference

私は、いまここに立って、わが第360地区年次大会に臨んで、ガバナーとしての、ご挨拶申し上げます。私のこの胸中は、もはや、喜びと、感激で、いっぱいでございます。

それは、今日のために、輝やかしい、華をそえられて、国際ロータリー会長、エバンス氏の代理として、わが国、ロータリーの大御所宮脇パストガバナーご夫妻お揃いで、わざわざご臨席下さったのを始めとして、地元の来賓各位、28氏に及ぶ未曾有の各地区の現ガバナー、パストガバナー諸兄並びに、わが親愛なるロータリアン諸君と、そのご家族が、かつてない2,300名の多数ご参加下さいましたことであります。また、準備万端、まことに至れり尽くせりの、この会場に光輝ある地区大会の幕が切っておとされて、昨日に引き続き、今、明、両日に亘って、重要なプログラムが展開されるからであります。

かくしてこの大会が、極めて有終の美を、あげるであろうことが、既に予測されるからであります。また、日本の各界、各層の代表的、指導者であって、極めて多忙な人々ばかりが、このように、ロータリー精神の昂揚を願望して、ここに集合されました。

この会場の姿は、まさに他に類例のない、ロータリーならではの天下の偉観であろうと思うとき、私の感激は、ひとしほ深いのでございます。

さて、この地区大会の意義と、目的について、改めて申し上げねばなりません。

その一つは、全国のロータリアン同志が、この機会に、友好と、親善を深めることであります。

次に、ロータリーの発展を討議し、ロータリーの綱領を推進するための、あらゆる研究であります。

更らにまた、ロータリーの奉仕の理想と、活動を、一般に知らしめて、ロータリー精神の理解と、拡大を計ることにあります。

なお、次年度のガバナーも、この大会が選挙をいたすのであって、こういったことが本大会の眼目となっているのであります。

かようにして、地区大会は、地区ロータリーとしては、年一度の最大にして、最高の、行事であり、祭典でもあるのでございます。

いま、日本には、11の地区があって9月24日から始まった北海道地方、即ち第350地区を皮ぎりとして、順次、北から南へ、日本の地区大会が開催されまして『ア、ベター、ワールド、スルー、ロータリー』『ロータリーで、より良き世界を』をスローガンに、日本の秋が美しく色彩られてゆくのであります。

この、日本の11の地区も、来年の7月には2つふえて13地区となります。

その1つは、東京地方が膨脹したので、2分割されて、第357地区と、358地区に拡大されることに決定し、もう一つは、皆さん既にご承知の通り、わが第360地区でございます。

当地区の近年に於けるロータリーの発展は実に目覚ましいものがありまして、きょう現在90のクラブ、会員数は4,400を突破しています。

この他に、現在仮クラブとして、既にスタートしているものもあり、また特別代表も決まって発足準備中のものも数クラブございます。

かような次第で、今年度中には、100クラブに近い状態が予想されるに至ったのであります。

この状態を見て取って、歴代の先輩ガバナー諸兄が、R. I.本部に対し、当地区の2分割を強く訴え、努力を重ねて来られたのであります。

私も、先般アメリカにまいりました時、この点を力説したのでございます。

2分割は100に垂んとするクラブを、1人のガバナーがお世話するという、重圧だけではありません、地区内クラブの、より良き発展のための、分蜂が必要であるからであります。しかし一方経費の問題も、関連いたしまして、R. I.本部では、暫定的に、いわゆるパイロット、プロゼクトなる方式を採り2人のガバナー補佐を新設して、今年度発足したのであります。が幸い、R. I.理事会の賢明なる処断によりまして、意外に早く、先刻申上げましたように、永い懸案であった、当地区の2分割は、遂に決定を見たのであります。

従いまして、来年の7月からは第360地区として、愛知、長野、両県が、また、新設の第361地区には、三重、岐阜、石川、富山の四県が、含まれて発足するのでございます。このような次第で、このあとの会議におきましても、2人のガバナー・ノミニーが指名される運びになりました。

これによって、今後の地区活動に新しい

積極性の生まれることは必至でございますが大変、喜ばしいことであります。一家と同様繁栄して分家が誕生するのでありまして、発展的、この2分割は、ロータリーの拡大を、力強く感じて止まないのであります。

永い歴史と、伝統の中に育った、これからの360と、361の両地区は、両親を同じくするというなれば双生児の心持ちをもって、共に相携えて行きたいものだ、と、念願する次第でございます。

いま、全世界には、133ヶ国。278地区。12,500クラブ。約60万名のロータリアンが存在します。

また、日本には11地区。750クラブ。35,500名の盛況ぶりであります。

私が、こうしてご挨拶申上げている瞬間にも、世界の何処かで、会員が増加し、新しいクラブが誕生しているのであります。

かつて偉大な先覚者、ポール P. ハリス氏の提唱により、1905年シカゴの一角に、数名のメンバーによって、孤々の声をあげて61年、こんにちのロータリーの発展を、誰が想像し、夢見たことでありましょうか。これは、ロータリーが、いかに高遠なる理想のもとに、その成果を、挙げて来たかを立証するものであり、またロータリーの魅力を物語るものでありまして、ロータリーの生命は、永遠に不滅であろうことを、確信いたすのであります。しかして先輩の貴重な衣鉢をつぐ私どもロータリアンとしては、今後一段と、精進しなければならぬことを、痛感するのでございます。

さて、私はガバナー就任の直前である、5月下旬から、6月中旬にかけてアメリカのレーク・プラシッドにおける国際協議会、並びにデンバーの国際大会に参加、勉強してまいったのであります。

リチャード・L.エバンス R. I. 新会長は、この一年の運営方針として、『10ヶ条の実践プログラム』を、私共に提供したのでございます。その内容につきましては、その後、地区協議会において、また私の月信において、或は公式訪問の機会に、皆さんの前に、ご披露申し上げ、その趣旨を強調してまいったのであります。

が、しかし、私の役目として、この大会においても、重ねて、エバンス会長の方針を皆さんにお伝えいたさねばなりません。

幸い、本日は、のち程、宮脇 R. I. 会長代理から、ちかに、ご挨拶が行なわれますので私はその詳細に亘ることを省略いたしまして

その10ヶ条の骨子だけを、蛇足を加えるようではあります、以下簡単に申し述べたいと存じます。

その第1は、新会員を、ふやしてロータリーを分け合ひましょう。

第2は、新クラブを作って、ロータリーを分け合ひましょう。

第3は、ロータリーの友好と親睦を楽しみましょう。

第4には、地域社会の必要としているものを見つけて奉仕しましょう。

第5は、われわれの事業や、職業の関係をより良くしましょう。

第6には、青少年に奉仕しましょう。

第7は、効果的な広報活動をししましょう。

第8には、ロータリーの国際性を強調しましょう。

第9は、世界的社会奉仕に参加しましょう。

最後はロータリー財団を支援しましょう。

以上でございます。

この10ヶ条のいづれも、私の共鳴を深くするものばかりであります。

私はエバンス会長の趣意を体し、また私のロータリー体験から、

新クラブの結成、青少年奉仕、内容の充実と行動力のあるクラブ形成、

この3つを、最重点目標に、この1ヶ年を取り組んでまいりたいのでございます。

いま、全世界共通の最大の関心事は、青少年問題であると思います。

私がレーク・プラシッドにおいて、R. I. 本部のインターアクト担当のジェームス・イー・クライン氏と、たまたま会談の機会を得ました。同氏は『われわれロータリアンには、インターアクトを通じて青少年問題に、積極的奉仕の機会を与えられていることを、改めて再確認しなければならない』と、強調いたしました。かねてからこの主張を抱いていました私は、彼と固い握手をかわしたのでございます。

ご承知の通りクラブには早くから青少年委員会を持っていますが、更らに1962年 R. I. 会長、ラハリー氏の時、インターアクトが登場したのであります。

これは、ユース・サービスを強調するロータリーが、青少年を対象に、劃期的な前進と積極性を、企図するものであります。

わが国においても、戦後の青少年の、その

言動、非行、頹廢、無秩序は実に目にあまるものがあり、前途に、由々しき暗影を投げかけているのであります。

しかし、一方には、今の若い人は、なかなかしっかりしているという一面もあります。

この混然とした世相の中にこそインターアクトクラブを盛り上げてゆく、大きな意義があると、私は確信するのでございます。

私は、ガバナー就任以来、ことある毎に、これを訴え、『1 ロタリークラブ、1 インターアクトクラブ』を提唱いたしつつあるのも、このゆえんであります。

この10月2日から8日に至る期間をインターアクト週間と定めて、R. I. 本部から、その連絡がまいておりますが、特に今年は、この『1 ロタリークラブ、1 インターアクトクラブ』を合言葉として、努力するよう、要請されているのであります。

もちろんクラブ作りのスポンサーになった、それだけで、積極的な活動展開がなくては『仏つくって魂入れず』でありまして、無意味に終り、形だけに終るのであります。

それには色々の手段、方法がありましよう。

青少年の中に、とけ込んで、惜しみなく、絶えざる支援と、指導と、理解と努力が肝要だと存するのであります。

従って、問題はいろいろと、つきまとして来るであろうかと考えられますが、皆さんどうか、ロータリアンの新しい一つ使命がふえたと心得て、いただきたいのでございます。

現在インターアクトクラブは6大陸に51ヶ国、凡そ1,400のクラブが出来ています。

わが国においては126クラブ。

この地区においては16クラブの状況であります。

まだまだ緒についたばかりでございませう。これからじっくり、これに取り組んで下さるよう、皆さん、どうぞこの大会のおみやげの一つとして『1 ロタリークラブ、1 インターアクトクラブ』を深く胸にきざんで、いただきますよう、重ねてお願い申上げる次第でございませう。

さて、最後の締めくくりを申述べねばなりません。それは、煎じ詰めたところ、形にとられない、内容の充実した、行動力のあるクラブ形成であります。

7月以来、私の公式訪問をスタートしています。まだ4分の1を終わっていませんので序の口ではありますが、一般的に感じられます

ことは、どのクラブに伺ってももはや、形は立派に整いロータリーも板についたという印象が深いのであります。この上は実践でございませう。重箱の隅をつつくようなやり方は、私の最も好まないところであります。

大きなクラブ殊に100名前後の中クラブで古いクラブには、いささか老化現象とでもいいますかマンネリー化の姿の見受けられるのは否めません。出席率にもそれが感じられます。もちろんロータリーを窮屈なもの、かた苦しいものにしてはいけません。しかし時々衿を正す思いと、若さを取り戻していただいて、常に清新なたゆみなき行動と、前進を、希って止まないののでございませう。

会員の増加は、いうまでもなく、ロータリーの拡大であり、望ましいことではあります。新会員の指導、同化には充分ご配慮を願って着実な拡大を推進していただきたいのであります。

クラブが膨張し過ぎて、半身不随となり、それが老化につながっては大変であります。

私は、この際、むしろ会員の増大よりも、アディショナルクラブ、新クラブの設立によって、拡大の道を拓くことが望ましい、と考えるのでございませう。

まとも易い、活動し易い姿こそ、勇敢なる行動展開の基礎ではなかろうかと、思うのであります。

私は、8月来、若干健康を害していましたが、きょうのこの盛大なる皆さんとの、ご対面にすっかり元気を回復した気持ちでございませう。

改めて、右手に高く『ユース・サービス』を、左手に『ア・ベター・ワールド・スルー・ロータリー』を掲げて、再スタートいたしたい、と覚悟を新たにいたした次第でございませう。

重ねて、R. I. 会長、地元来賓各位ならびに全国からご参加下さった、ロータリアン諸君と、そのご家族に、心からの敬意と感謝の意を表します。

また、この大会の準備と、設営のため、永い期間、大変な犠牲とご心労を煩わした岐阜南ロータリー・クラブの皆さんならびにご協力を賜った関係各位に、衷心有難とうとお礼申上げて、私のご挨拶を終ることにいたします。

有難とうございました。

R. I. 会 長 代 理 と し て

The greeting of President's proxy.

—— 大会における宮脇富氏の講演要旨 ——



岡田ガバナー初め、大会役員の皆様方、パストガバナーの皆様、ご来場のロータリアンおよびそのご家族。今日は非常によい天気恵まれて、この大会が開催されましたことは、誠に同慶の至りでございます。

私はご当地に参りましたことはしばしばあるのでありまして、私が第60地区のガバナーをしておりました時代はもちろんのこと、その前後におきましてもしばしば参ったことがございます。また岐阜大学の農学部がまだ岐阜高等農林学校といっておりましたころにしばしば同学校を訪問したことがあるのであります。

また私は北海道の帯広に畜産大学をつくるために10年間滞在したことがあるのであります。岐阜と帯広は非常に関係が深くあります。帯広の開拓は岐阜の人によってなされたのであります。

かようなわけで、この岐阜市は私にとりまして最も思い出の深いところでございます。しかもこの会場には多くの知人がおられまして、ながら故郷に帰ったような気持ちがいたすのでございます。ところが図らずもこのたび私のようなものが、この盛大な第360地区大会に、リチャード・L・エバンス国際ロータリー会長の代理といたしまして、家内とともに参列させていただきましたことは誠に意外でありまして、同時に光栄の至りに存じておるしだいでございます。エバンス会長はこの大会が最も有意義に終始し、ロータリーの真情が完全に発揮されることを祈っておるということを、ここに慎しんでお伝えいたし、本大会を祝福いたすしだいでございます。

当地区には伊藤さんとか戸田さん、盛田さん、九鬼さん、山岸さん、武藤さん、内藤さん、安野さん、神野さんというような、まれにみる立派なパストガバナーがきら星のごとく輝いております。また近藤さんとか元のロータリーの友の創刊時代に非常に活躍された功労者である遠藤さんのような方々がおられ、いわゆるロータリーの達人としてこの地区の発展には非常に力を尽くされたのでございます。当地区が非常に発展してきましたことも、これらの方々に負うところが非常に多いと思うのでありまして、またここが立派にいつているというのはそのお蔭でございます。そればかりではございません。また皆様がこれらの人非常に協力していただいたたまものであると信ずるのでございます。当地区が、さきほど岡田ガバナーからお話がありましたように、来年の7月1日から2地区に分轄されることになりましたのも、その認識の表われであるといわなければならないと思います。

私はここに改めて当地区のガバナー、歴代のパストガバナーおよび長老各位のよきご指導と、地区内ロータリアン各位の熱意と実行力に深甚なる敬意を表し、同時に讃意を表するしだいでございます。

さてエバンス会長は、さきほど岡田ガバナーのお話の中にありましたように、本年度の指導方

針として、A BETTER WORLD THROUGH ROTARY という標語を提示いたしました。ガバナーはその実行をさきほど強く約束いたされたのでございます。誠にありがたいと存するしだいであります。皆さんにおかれましてはどうぞこの標語の、会長の要望している10項目の実行にたいし、ガバナーにご協力くださいますようお願いいたしますしだいであります。

A BETTER WORLD THROUGH ROTARYと申しますのは、『ロータリーでよりよい世界を』ということになるかと思えます。会長が要望しております実行の10項目と申しますのは、ロータリーの力で、この世界をよりよくするための計画でございます。

会長はこの多事多難なる現世界をロータリーの活動によって、もっと住みよい、しかも平和な世界にしたい。それには少なくともその提示した10項目のいずれかを皆さんが実行していただきたいと願っておるしだいでございます。

その10項目はさきほど岡田ガバナーが申されましたように、会員の増加、新クラブの結成、ロータリーの友好享受、地域社会の欲求に伴う奉仕、自己の業務改善、青少年への奉仕、効果的広報の推進、ロータリーの国際性強調、世界的社会奉仕への参加、ロータリー財団への協力——等々でございます。

その中で、会長が最も力を入れておりますのは、第9項の世界的社会奉仕への参加ということでございます。これらの10項目は、おそらくいずれのクラブにおかれましては実行できるものばかりであると思えます。しかし会長は必ずしもこれらの10項目を全部そのまま皆さんに押し付けようとはしておりません。10項目のうち、皆さんのクラブの事情、その環境によりまして、最も有効適切に成し遂げ得られる項目を選んで実行してもらいたいといっておるのであります。それ以外にも、皆さんが必要と思われ、かつ効果的に実行できるものがありましたならば、それも加えていただきたい。こう申しておるのでございます。その実行に当たりましては、まず自分のクラブに、手近な地域社会にこれを適用しまして、それから進んで広く世界に及ぼしていただくのでございます。

会長は皆さんがロータリーを楽しまれることを希望しております。そのためにロータリアンは単にロータリークラブに所属しているというのでは困ります。常にロータリー的な行動をしなければならぬということをいっております。単に例会に出席するということではなく、何事かを実行するのではありませんのであります。いたずらにロータリアンであるという誇りを持つだけではなく、ロータリーという組織の一つの分子となっていいただきたい、こういうことであります。

現代の社会には改善を要する幾多の問題がございます。世界の現状はこんとんとしております。その欲求は無限であります。それだけ私どもの奉仕の機会も多いのでございます。もちろん私もは全ての人にたいし、全てのことをしてあげるわけには参りません。しかし私どもは、どこかで、だれかが、何かをしてあげることができるはずでございます。

私どもは、この社会を、この世界をより住みよいところ、より平和の環境にする確信を持たなければなりません。しかしかに確信がありましても、実行が伴わなければ何の役にも立たないのでございます。確信を持って実行いたすことにいたしましょう。

われわれ自身の国、また世界至るところにロータリアンの力で改善できる機会はいくつもあります。そこでエバンス会長は、皆さんに前に申しました実行すべき10項目を携え、国境を越えて進撃せよと叫んでおるのでございます。

エバンス会長が本年度の指導方針を立てました動機は、彼がまだわずかに13歳の幼年時代にさかのぼるのでございます。国際ロータリー第10回の大会が、いまを去る47年前の1919年、アメリカのソールトレークシチーで開かれたのでございます。そのときに少年リチャード——いまの会長であります——は、当時のボーイスカウトの一会員として、大会のメッセンジャーボーイをやっておったのでございます。

そのとき彼の目にうつったロータリアンは、皆成功者で、誠実そのものであったのであります。非常な感激をそれによって受けたのでございます。交通問題とか、キガの問題、戦争避難民問題——ちょうどそのころは欧州戦争のときでしたから、その戦争避難民問題——、青少年の福祉、事業の経営、経営者と使用人との関係、教育、幸福、家庭、人間関係、陸海軍人等にたいするいろいろの問題と真剣に、しかも情熱をこめて取り組んでおった彼らの姿は、リャード少年の胸を打たないではおかなかったのであります。そのときすでにロータリアンにあこがれを持ち、その脳裏にロータリーが植え付けられていたのでございます。

それから19年の月日がたちまして そのころに さっき申しました第10回大会に参列しておった一会員の推薦によりまして、成長した往時の少年リチャードは、あこがれのロータリアンとなることのできたのであります。そのさい彼が感じましたことは、分かち合いの心の尊さでございます。彼を推薦してくれた人こそ、ロータリーを分けてくれた人であることを痛感したのでございます。

そこでリチャードエバンス会長は『われらの全ては、だれかがロータリーを分け合ったればこそロータリアンになれたのである。われわれの全てはだれかの分かち合いに負うものである』こういうふうにいっておるのでございます。この分かち合いの心の尊さを肝に銘じましたロータリアン、エバンスが、いま国際ロータリー会長となって、その指導項目の第1に、ロータリーを分かち合う。いいかえれば会員をふやすということを取り上げたのでございます。

これは単にその一例であります。エバンス会長は全て彼の経験と感激したロータリーの力で、よりよい世界をつくるにふさわしい、実行すべき10項目を編み出したのであります。

提示しました10項目は、いかにも恒例的なものでありまして、一見新味の少ないものに感じられますが、その方法たるやいずれも実際的なものばかりでございます。実行でき得るもののみであります。どうかこの指導方針に皆さんのご賛同とご協力をお願いいたすしだいでございます。

各クラブはその職業分類を整備いたしまして、未分類の分類がありましたらこれを充てんし、新たに職業分類を設定し、新会員を迎えること。シニアアクティブ会員の励行によりまして、新たに若い会員を迎えることができるのでございます。

かくいたしまして、真にロータリーの精神を把握するものがふえますれば、それだけ世界がよくなるわけでございます。私どもは隣接町村、または大都市内の実業、または専門業、商をよく調査いたしまして、職業分類にじゅうぶんな目安がつきますれば、そこに新しいクラブを結成することができるのでございます。クラブを新設することによりまして、広く国家、社会にロータリーを分かち合うことができるのでございます。

国際ロータリーの理事者は、1千人以上の人口を有するところには、クラブ新設の可能性がありといっております。しかし日本では1千人という必要はありません。1万人以上の人口を有するところ、またロータリークラブのないところは、数知れずあるのであります。ロータリーの外部拡大の機会は無限であるといつてよろしかろうと思ひます。

もっとも、さきほどガバナーがいわれましたように、数のみがロータリーの精神を意味するものではございません。その質にじゅうぶんの考慮を払う必要がございます。このロータリークラブの質の問題につきましては、小さいクラブの弱体性がいわれておりますが、クラブの質というものとは必ずしもその大小のみによるものではございません。いかに小さなクラブでありまして、その会員の方々がこぞってロータリーの精神を体得すれば、立派なクラブでございます。

いかに大きなクラブでありましても、クラブの活動、ロータリー精神に欠けている会員があるといったしましたならば、それは弱体のクラブといわなければならないのでございます。その地域社会に及ぼす影響力と申しますのは、小都市の方が、むしろ大都市に勝る場合が決して少ないのでございます。よりよい世界をつくるには、世界のすみずみに至るまで、ロータリーの精神を浸透せしめることが必要であります。

しかし小都市といわず、大都市といわず、いかなる地方にも一つの新しいクラブを結成するに至りますには、地区ガバナーはもとより、スポンサークラブ等の徹底した指導と援助がとくに大

切であることは申すまでもないことでございます。

私どもはクラブの例会にはもとより、その他の会合にも出席しまして、その活動にさいしてお互いの友情を深め、ロータリーのよさを覚え、これを楽しむことができるのであります。ロータリーで出席をやかましく申しますのは、結局会員相互の友情をまし、お互いにその楽しみをとにもする機会をつくるためでございます。会合に出席しないでは、お互いが顔を合わすことはできないのでございます。お互いが顔を合わせて、自然に友情が湧き出るのでございます。クラブ活動に賛意を表することによりまして、お互いが一層親密になるものでございます。

かくしまして、ほんとうの友だちができるのであります。齒にキヌを着せたままでは、話がうまくいかないものでございます。齒にキヌを着せないで、心おきなく話し合える友だちこそ、巨万の富にも勝る宝といわなければなりません。

今日の社会問題にはいろいろあります。青少年にかんするものは、その最たるものでございましょう。そのほかに失業問題、教育問題、保健問題、交通問題、遵法問題、家庭問題と数えあげればきりがないのでございますが、私どもは、まず私どもの住む環境におけるこれらの問題に関心を持ちまして、それらの中で、私どもででき得る範囲の問題を取り上げ、その改善に努力することが私どものいう社会奉仕でございます。

ロータリーは奉仕団体でございまして、その奉仕の一環として慈善的行為を奨励してはおりますが慈善団体ではございません。ロータリーはロータリアン個人個人がその分に応じて社会に奉仕する団体でございます。

社会奉仕にはとかく金が伴うことが多いのでございますが、ほんとうの社会奉仕は金よりも真心が必要であります。真心は奉仕の精神に通ずるものでございます。お互いロータリアンは職業人でありますから、その本業を犠牲にするわけには参りません。ロータリアンは自己の経営している事業が繁栄してこそ、真心を持って社会奉仕も国際奉仕もできるのでございます。私どもは私どもめいめいの職業をよりよいものとし、より繁栄せしめなければなりません。

それにはお得意への奉仕、雇用人との相互信頼、競争相手との共存共栄の実をあげ、社則、原則、家憲等を高い標準に置きまして業務を改善して、事業の生産物や商品の品質を最高のものとする心構えが大切であると思います。教育者であるとしすならば、次代の国民に養成するための研究をなし、その施設を豊かにし、教科目の改善を図り、学生と教師の相互信頼性を強化するならば、教育事業の発展を図ることができるのであります。

ロータリーで職業奉仕と申しておりますことは、実にこういうことにほかならないのでございます。これまでよく行なわれておりますところの優良従業員の表彰とか、職場見学というようなことは、職業奉仕の手段にすぎないものでございます。よき手段はもちろん奨励すべきものでございますが、その本質を忘れないようにいたそうではございませんか。

青少年奉仕はロータリークラブの最もふさわしい活動の一つといえるのでございます。それにもいろいろ問題がありますが、私どもの関心を最も引きますことは、次代の国民に奉仕の観念を植え付け、彼らに国際性を持たせることでございます。また次代の国民には誤りなき自主精神のかん養が大切でございます。そのために、インターアクトクラブの結成こそ、最も時宜に適したものといえるのでございます。

現下の学校事情では、往々にしてその結成にいろいろな困難が伴うことがあるやに聞いております。しかし学校当局とひざを交えて、よく話し合えば必ずしも困難だとはいえないと思います。

最初のインターアクトクラブができてから、数年足らずですでに52カ国、197地区にわたりまして、1,350のクラブ、32,500の会員ができております。そこで国際ロータリーは、このインターアクトクラブの国際理解活動に、国際ロータリー賞を与える。こういうことを決定いたしております。

このインターアクトクラブ以外に、青少年問題といたしましては、学生交換、職業指導者等のいろいろな問題がたくさんあります。じゅうぶんにご研究のうえ、クラブで最も実行に移しやす

いものを取り上げていただきたいのであります。

いかに立派な団体でありましても、立派な活動をしていましても、それに社会の共鳴が得られなければ、その効果は得がたいのでございます。まず社会にロータリーを理解させる必要がございます。ロータリーがいかなる活動をしているか、そのつど一般社会に知らすことが大切でございます。

それには効果的な方法が必要でございます。そのために日刊新聞の利用は最も効果的でありましょう。ところが新聞記事としましては、目新しいもの、社会の耳目を引くようなものでなければ価値がないのであります。そうでないと新聞社は取り上げません。でありますから郷土の新聞人と密接な関係を保ち、その協力を勝ち得るような、立派な活動を企画されますことをお願いいたします。

そもそもロータリーは青少年弁護士ボールハリスが、未知のシカゴに開業したときに、その孤独に悩まされ、しかもシカゴ市民のすさんだありさまを憂いまして、真に心を許し合い、交わることのできる友だちを持たない、職業を異にした数人の人の集まりを求めたのに始まっております。

それがついにシカゴ・ロータリークラブに発展いたしまして、それから米国内に拡がり、カナダに及び、英国にまで渡りまして、ここに国際ロータリーが誕生したしだいでございます。ロータリーの機構、ロータリーの活動は、国際ロータリーとなって整備されたのでございます。

それゆえにロータリーは国際団体であります。私どもはロータリアンの世界的接触によりまして、広く友好を進めていかなければなりません。私どもはクラブ単位に、あるいは地域単位に青年の国際的交歓、その他の活動を企画しなければならないのでございます。

私どもロータリアンは国際人であります。国際奉仕を盛んにし、ロータリーの国際性を強調しようではございませんか。国際ロータリーは、その根源を地域社会に置いておるのでございます。ロータリークラブはその所在地域の職業の横断面を反映するのであります。したがって、その社会奉仕は、その地域社会に重点を置くべきは当然のことでございます。その原則には変わりありません。しかしロータリーが、今日のごとく世界的なものになって参りますと、自然に国際奉仕の重要性が増大して参るわけでございます。国際奉仕にかんしましては、皆さんは常にいろいろと活動されておるのでございます。

世界の現状をつぶさに検討してみますと、至るところに援助を要するものがたくさん見出されるのでございます。私どもはその発見をむだにしてはならないのであります。どこかで、だれかが、何ものかを提供することができるのでございます。これこそ世界的、社会奉仕でございます。国際間の理解増進の意味で、ロータリー財団は若い学徒に奨学金を与えております。1964年のトロント大会および今年のデンバー大会で、この財団計画拡大とその予算が増額されました。

このため従来奨学生のほかに、実務家の集団研究交換事業に旅費を補助すること。ロータリー財団の目的に沿う試験的企画への補助、大学在学者への奨学金授与というような計画を実行することになったのであります。

かくいたしまして、国際理解の道を開くに必要な経費はますます増大しつつあるのでございます。

ロータリー財団の強化は、いよいよ必要の度を高めて参りました。当地区の皆さんは、よく理解していただいております。名古屋クラブは400%クラブの栄を受けておられます。当岐阜、金沢、富山、大垣の各クラブは300%のクラブとなっております。200%クラブは20クラブに達しております。37のクラブが100%クラブになっておられます。誠にありがたいことでございます。会長に代わってお礼を申し上げます。このうえともご協力のほどをお願いいたします。

皆さんの生涯の奉仕とロータリーの力で、よりよい世界をつくらうではございませんか。

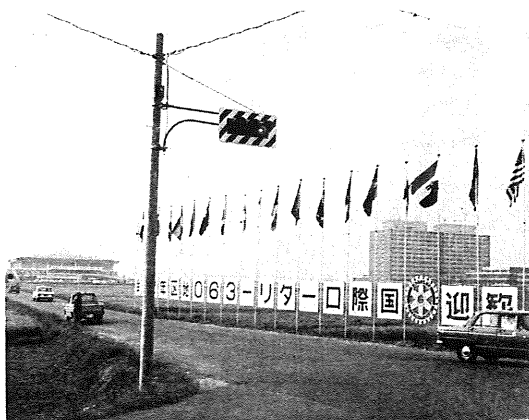
ありがとうございました。



—岐阜駅前への歓迎塔—



—大会の本会議場—



—左は本会議場にあてられた岐阜県民体育館、
右は岐阜県庁—



—出席優秀クラブの表彰—



—岐阜県立ろう学校生徒の可憐な演奏—



—特別講演の今東光師—

大会の終了にあたって
——ガバナーの感想——

Governor's impressions at the end of
District Conference.

1966年の第360区、地区年次大会は、一昨日の前日懇談会に始まり、昨日と今日の2日間にわたる大会は、絶好の秋晴れという天与の幸運に恵まれて、ここに滞りなく、すべてのプログラムを進行し、有終の美をおさめて終了を告げんとしています。

いま、この大会を顧みまして、私の喜びと感激は申し上げるまでもありませんが、わが第360区史上に、輝やかしい幾多の金字塔の打ち立てられましたことは、皆さんと共に、まことに欣快にたえないのでございます。

その一つは、東京地区以外では、到底見られないであろう2,300名に及ぶ空前の参加者を得ましたことであります。

次には、日本ロータリーの偉大なる至宝といわれるパストガバナー、宮脇^{あづし}富氏をR.I.会長代理として迎える光栄を得ましたことであります。

また、元R.I.副会長東ヶ崎パストガバナー、大先輩柏原パストカバナーを始め、28氏に及ぶ全国各地のパストガバナー、現ガバナー並に、当地区のパストガバナーなど豪華なるご臨席を忝なうしたことでございます。

次には、最適任の二人のガバナーノミニーが正式に選挙されたことであります。

更には、本大会の華ともいふべき部門別協議会につきましては、昨日、宮脇R.I.会長代理と共に、8部門すべてを巡回いたしました。が、いづれの会場におきましても、極めて真摯なるデスカッションが続けられているのを見聞いたし全く頭の下がる思いを致したのであります。

かくして、本大会の目的であります親睦と友好を深めんとする親和の大グラウンドが見事展開され、また、ロータリーの発展を討議し、ロータリーの綱領を推進するための、あらゆる研究の成果が、余ますところなく収められたと、確信するのでございます。その内容につきましては先刻それぞれリーダーによってご報告あった通りであります。

重要なる決議事項につきましては、いづれも満場一致の採決を見ました。

奨学生及び交換学生両君の体験報告も満足

すべき貴重なものであったと考えるのであります。

出席ベストテンの光栄を勝ち得られた10クラブには、心から敬意を表すると共に、今後この榮譽を続けられんことを切望してやみません。

また、皆さんの絶讃を博しました、岐阜県立ろう学校の可憐なる諸子による鼓笛隊の立派な演奏には、全く心を打たれましたが、それにも増して、愛の灯なる抛金も、この大会の貴重な収獲であったと信ずるのでございます。私は、皆さんと共に、この若き諸子に、永遠の幸あれかしと、念じてやまない次第であります。

さて、来年度は、いよいよ2分割となりますので、今の第360区としては、最後の地区大会となりましたが、明年は第360区は名古屋西クラブ、第361区は高岡クラブがそれぞれホストをお請け下さったのでございますが大変なご苦勞をおかけいたすこととなりますが、よろしくお願い致します。

しかし、昨日も申し上げましたように、この両地区は永遠に兄弟の地区でございます。相携えて参らねばなりません。従って、時には、ジョイント、すなわち合同開催の年次大会によって親交を計ることも有り得ると存するのであります。

最後に、私は強調申し上げねばなりません。それは、本大会の準備、運営万端、殊にマイクまた先程宮脇R.I.会長代理も申されましたが照明に意を用いられたこと、まことに鮮やかに、且つ行届いた細心のお心使い、至れり尽せりのご配慮によって、この大会をして、最大の成功に導かれた岐阜南ロータリークラブ及びご支援の各クラブ、関係官庁、団体の並々ならぬご協力に対し、万腔の敬意と感謝の意を表する次第でございます。

なお、先程の決議にもありました、エバンスR.I.会長の実践10項目の達成協力につきましては、本大会の締めくくりとして、皆さんと共に固く誓い合って、明日からのロータリー活動に対処いたそうではありませんか。重ねてお願い申し上げます。

これから観光にご出発の方々、家路につかれる皆さんのご無事をお祈り申して私のご挨拶を終ります。

岐阜の皆さん大変有難うございました。

部門別協議会報告

Reports of departmental Assembly.



▷会務奉仕A部会

出席・S. A. A.

親睦・プログラム

リーダー

名古屋東R.C.

佐藤 知雄

会務奉仕A部会は、岐阜養心会館において安野パストガバナーのご指導を得まして、リーダーである私が司会をいたしまして、10時55分から189名のご出席を得て開催いたしました。17時20分まで非常に活発なご意見の開陳がありまして成功裡に終わったわけでございます。最初私から、この部会はSAA、プログラムなど4委員会の議にかんするものを取り扱う。この4部門は非常に密接な関係があってロータリークラブ運営の上に重要な部門を占めているから、みなさんとともに熱心にご討議願いたいということを報告しました。

まず、スピーカーの紹介にかんする質問が出ておりましたので、それを最初の議題として取り扱ったわけでございます。それは高岡クラブから出ておりました質問でございまして、大都会においてほとんど感じられていないことであるが、中都会、小都会においては毎週のスピーカーに非常に困っておる。そのスピーカーをあっせんする機関を中央に、中央と申しますのは360地区の中央にあっせん機関を設けてほしいというお申し出がありました。これにたいしまして中津川のクラブから、順番制で行なっている、それで別に支障がないということがありました。ただその方法でいきますと、小都会におきましては順番が非常にひんばんに回ってまいりますと、スピーチの内容がだんだんとマンネリズム化して例会に興味を失うようになりはしないかということをお答えしたわけでございます。名

張の委員会からもこれとほとんど同様のご意見が出まして、金沢の委員会から、スピーカーの良否は全く例会の興味を左右するものである、ということについて重要性を述べられました。その具体的な方法として司会の方にはいろいろご発言がございまして、スピーカーの選択にたいしてたいへん有益なご発言があったわけでございます。その中で婦人を1月に1回、婦人というのは女性という意味だと解しましたが、一回スピーカーをお願いするということは、たいへんまた別の方面からロータリーにかんする考え方が披歴されておもしろいのではないかという有益なご発言がございました。高岡クラブにたいしまして、以上の発言にたいしてご参考になったかというご質問いたしましたところが、高岡クラブから、たいへん参考になった。中央機関をつくることについては一つお考え願いたいということでありました。それで私が締めくくりとして申し上げましたことは各クラブの中で、非常に興味のあるスピーチをしていただいた方のリストをつくってどこか中央に委員会でも設けて、そこへ送って、その方を頼めばいつでも話をしていただけるようなリストをつくっておいたらどうだろうということで、そう申したわけでございます。ロータリアンはすべてスピーカーになる資格があるんだから、その中からまた選ぶということにたいしては多少の疑義があるかと思うんでございすけれども、やはり話のヘタな方もあるんでございますから、ロータリアン全部がスピーチをやらなければならないというのも少し会をさびしくするのではないかと思うんでございます。この問題については中央にあっせん機関を設けるか、リストをつくるか、あるいはご質問があればそれに応ずるかについては、またよくガバナーとも相談するつもりであります。また興味あるご発言は、たとえば石川県ならば石川県の中で5、6のクラブが共同して地方の相当遠い遠隔の地でも有名な方があったならば、その方に一週間ご出張願って各クラブを歴訪していただいてスピーチをしていただく。ただしそのときに5つなり6ヶ月曜日から土曜日まで各クラブをお回りになるとき、同じスピーチでは興味が無いから6

つぐらいい変ったバライティに富んだ話のできるようなそういう方を選んでほしいと、まあそういういろいろありましたが、どこのクラブもスピーカーにたいしてはまことに真剣にお考えになっていることがわかりました。この問題については私、後日ガバナーとよくご相談申し上げまして的確な結末をつけるつもりでありますから、ご発言になった方にそのようにご報告申し上げておきたいと思ひます。

その次に出席会員の増加にかんしての問題がございます。大クラブになりますと漸次出席率が減少してくるということについてはやむを得ない現象であると思ひますが、昨日もガバナーがお話しになりましたように、大きいクラブになりますと、どうしても、大きいクラブとはやはり古いクラブに多いんでございますから老化現象が起こっておる。老化現象が起こると出席率が低下するということがあるから、これについては真剣に考慮してあらゆる方法を用いなければならないということがあります。とくに興味あることは、昨日表彰を受けられたような出席率の非常にいいクラブでは、ほとんど出席率のことを口にしない。出席向上の手役をなにも講じていない。そういうところがほとんど出席、昨日表彰されたクラブは、ほとんどそういうご発言がございました。出席せよ、せよといって100%になったんではない。放っておいて100%になりますということでございます。ことに私も感激いたしましたのは豊橋南クラブが創立いらいまだ1回も100%を割ったことがないという新しいクラブが誕生したということでございます。これは私は、みなさま方のご努力にあると思ひましてまことに感激いたしました次第でございます。

まあいろいろと話がございましたが、時間が少のうございまして、部門別協議会のうちのSAAにかんする問題には立ち入らないで時間がまいったのでございます。出席会員の中から協議会が非常に興味があったから来年からは協議会の時間を長くしてほしいと、こういうようなご発言もございました。たいへん簡単でございますけれど



▷会務率仕B部会

職業分類・会員選衡
ロータリー情報

リーダー

金沢東R.C.

柿下正道

ご紹介にあづかりました柿下でございますが、私Bゾーンのリーダーをいたしました。幸いなことにアドバイザーとして伊藤バストガバナーをお迎えいたしましたことは、私が金沢で大会の委員長をやっておりますときのガバナーでございまして非常にお助けをいただきましてまず円滑に終わったかと思ひます。出席されましたクラブは75クラブでございまして、会員は133名、このB部門の方は大体ロータリーの拡大にかんする重要な部門であったかと存じます。と申しますのは、第1が職業分類、それにたいして会員選衡、ロータリー情報でございますから、どうしてもロータリーの拡大が非常に重要な面を占めておるものでございます。

まず最初に職業分類の方面からはいってまいったのでございますが、このごろ産業の種類がふえてまいりまして、かつまた非常に専門化してまいりますので、古い職業分類表ではいかかかと思うということを申しましたところが、各クラブとも年々新しく更正しているというお話しでございます。が、ただ一つここに飯田のクラブからして水引というのが、水引を専門にしておられる方があるが、その方を入れる小分類がない、というふうなご質問がございましたけれども、幸いにして伊藤アドバイザーからして、茶道というものない。しかしどのクラブ、金沢でも茶道の専門家という方がはいつておられますが、名古屋でもはいつておられるから、まあそれと同じように取り扱ったらよかろうというふうなご説明がございました。そのほか貿易商という欄がない、ということでございましたが、これもアドバイザーの方からしてそれは貿易

商のところの見出しをひいて、そこのところをひきますと今度はその取り扱う商品名によってそれがその部門にはいるんだというふうにアドバイスいただいたわけでございます。計理士と税理士、これはどうもどちらを取るか、どちらをお取りになってもいいだろうというふうなお話でございました。

それから会員選考の件でございますが、ちょうど会員選考の件をやっておりますときに宮脇R.I. 会長代理と岡田ガバナーが入場されましたので、いろいろここでまたアドバイスいただいたわけでございますが、まず宮脇R.I. 会長代理からはチャーターがすんだならば早く25名の会員にしろ、まだ25名の会員になっておらないところがある。それはR.I. 本部の方からして案内がきているからと一々クラブの名前を指摘されました。今後クラブをおつくりになるところ、また改造のところでは、チャーターがまいりましたら、なるべく早く25名にさせていただきたいと思うのでございます。岡田ガバナーからはやはり質のいい人なるべく選んでほしい。ことに出席率の悪いというのは後のロータリー情報のところでも出たんですが、まず最初の教育、第2回目の理事会がすんで本人に通達するときによく話をしないからではないかと。岡田ガバナーの推薦によってはいったものは今日まで全部100%の出席率であるというふうなご説明がございました。

それからしてライオンズクラブとロータリーとの関係でございます。これはロータリーにはいつていただこうと思って推薦しているうちにライオンズクラブの方にとられてしまう、でなんとか早く手続きができないかというふうなご質問がございました。しかしそこでアドバイザーの方からして、ライオンズクラブというものと、ロータリークラブというものの考え方、またアメリカにおけるなりたちというものを詳しくご説明になりまして、そうしてそれをよく候補者に話をしまして、それでもなお向こうへ行きたい人は、ご随意に行っていただいて、そういう方はロータリーにはいつていただかなくてもよろしいだろうという結論でございました。名古屋のクラ

ブでございますけれども、自分の地区外の方でほかのクラブへ入りたいんだけど、しかし地区外からして推薦することはできないからどうしたらよいかというふうなお話がございましたが、これはなるべくそのクラブへはいつていただきたい。クラブヘメーキャップを盛んにしてそうして、知り合いを多くして、その方々からして推薦していただければどうかというふうなことで結論がつけました。

それからロータリー情報でございますが、もう時間がまいりましたけれども、一ことだけ申し上げますが、ロータリー情報の入会前の教育はあまり徹底していないようでございますが、中にはご婦人をまじえてそうして会長、幹事、それからしてロータリー情報委員長等がともに会食をしてじゅうぶんロータリーを認識していただいて、それからご賛同を得て入会していただく、というようなクラブが三つほどございました。そのほかのクラブは入会が決まって、手続きがすんでから、それから教育するというふうな具合で、その入会前におけるロータリーの認識という点がまだ少しく欠けているクラブがあるようでございます。

それから話がだんだん横の方へまいりまして、アデショナルクラブをつくるのにはどうしたらいいかというふうな方面へ発展してまいりまして、いろいろアドバイスがございまして、ことに直前ガバナー、神野ガバナーからいろいろお世話をいただきましたので、そういうふうなお話をいたしまして、神野ガバナーに重ねてお願いなさったらということで話は終わりました。

なにしろそのあといわゆる役目のすんだロータリアン、年寄りのロータリアンをどういうふうにしてロータリーの仕事に引っ張り込むか、どういうふうにして再認識してもらうかというところは、とうとう討論することはできませんで、時間が足りなくて、やはり私どもの方でももう少し時間がゆっくりほしいというふうな状態でございました。以上で終わります。



▷会務奉仕C部会

雑誌・会報・広報

リーダー

津島R.C.

小川 恵 正

会務奉仕C部門の雑誌と会報と広報を扱いました。幸いにパストガバナーの武藤先生のリードで、70のロータリークラブから114名の方がお集まりいただきまして協議を進めてまいりました。私、いろいろなリードをさしていただきましたが、初めてでありましたものですから、予防線を張ったわけではないんですけれども、最初にみなさまに、ロータリーの理想である奉仕というものの概念はいろいろあるだろうけれども、要するにこれはお互いが相手の身になり、心になって、感じ、考え行動することなんだから、どうか一つこのリーダーの立ち場に身を置いてやっていただきますように、もちろん私の方でも聞いていらっしゃる、協議していらっしゃる立ち場になります、と申し上げましたら、大爆笑のうちにご了解をいただき、きわめてスムーズに会を進めていくことができました。

最初に雑誌でございますが、雑誌はザロータリアンとロータリーの友の二種類でございます。驚きましたことは、全員がザロータリアンをとっていらっしゃる。とっていらっしゃるということと読んでいらっしゃるとは別でございますが、とまれ全会員の方がとっていらっしゃると聞きまして、そういったロータリークラブがかなりありましたのはたいへん結構なことであると、かつは驚いた次第でございますが、それをどういうふうに利用していらっしゃるか、やっぱり週報なり、あるいはマンスリーなどにそれを載せたり、していらっしゃるようでございます。なお読んだ後にはどういうふうにお聞きしますと、やはり図書館とか、学校とか、新しいところではインターアクトクラブへ寄贈しているんだというところがありまして、私どもが初めてロ

ータリーに入会しましたころとはだいぶ若い方がふえただけにか進んでまいりましてうれしく思った次第でございます。

それからロータリーの友でございますが、たしか岐阜ロータリーの方だったと思います、口をきわめてこのロータリーの友を絶賛されましたが、これにはみなさんが調和するように全くそうだというご表情でございまして、私も実はあの雑誌を編さんなさる方のご苦心、ご苦勞にたいしては、甚深なる敬意を表しておるものの一人でございますが、実に今日このごろのロータリーの友は、内容りっぱなものでございます。私どもは大いにスミからスミまで読まなくちゃなんもんだとこう思っている次第であります。このことだけは声を大にしてロータリーの編さん委員の方にお礼申し上げたいような気持ちになった次第でございます。ただ一つそこに私がご意見がございましたならば、と申し上げましたら、そのことについて、こういう注文が一つあったんでございます。それは金沢のロータリークラブでございましたが、あの目次にテーマが書いて、そしてページ数が入れてございます。しかし、本の中のページが入れてございません。例えばこの10月を見ますと、新しいロータリークラブの紹介のところがございます。ページ30ページと目次には書いてございますけれども、実際には30ページがどこやらわからんようになっている。しかし延べページはちゃんと合っていますけれども、ということが出まして私は、あ、変だなあといままでも感じたんでございますが、なぜこうなのかということは私もそこまでは疑問を持ちませんでした、そのときに、すぐに武藤先生がお立ちいただきまして、それはひょっとすると第三種郵便物の認可がとってないからじゃないか、それに関連してできないんじゃないかなあとおっしゃいました。私もどうも、これにはわかりませんけれども、みなさまの中にはご存じの方があろうかとも思いますが、しますという、あれは特種な会員に頒布する頒布の値段が書いてあるんでございます。いわゆる雑誌のように第三種郵便認可は書いてございません。ここが一つの問題である、こういうご意見がございました。

それから次に会報のことにはいります。私

はこちらから質問をいたしました。いろんな会報を集めて持ってまいりましたものですが、いつも驚きますことは、名古屋の北クラブから出しております会報が、あまりにもすばらしい会報でございましたので、もしいらっしゃったらと思ってお聞きしましたら、幸いにも名古屋北クラブのこの会報をつくっていらっしゃる最初の方の方がいらっしゃいました。最初は郵便大のものを出していたが、いわゆる速報性はあるけれども、これではみんな読んでくれない、漢字の羅列にすぎないからというので大いに考えた結果、あしたものが生まれたんだ、とご説明いただきましたが、そりゃもう非常なご苦心、ご努力であることに私も敬意を表しますと、同時に、お互いに例会のときにあいったものをどこでも回していらっしゃるでしょうけれども、一つぜひみなさまお目通しをいただけたらと思います。それから豊橋のロータリークラブでは、家庭の情報を載せていらっしゃるようでございますがこれが非常に受けているということでございます。なお豊橋のロータリークラブで私も感心しましたことは、年次報告、いわゆる年報が出ておりましたが、この作成をなさる方もたいへんなことだったろうと思うんですけれども、これもご紹介を申し上げておきたいと思います。多くはマンスリーとウイクリーの両方出しているようでございます。これはかなりございましたが、これもたいへんなご苦心だと思います。それから岡崎クラブのように両方を出して、しかもそれに関連したメンバーがいらっしゃるの、割り合いにスムーズにいらっしゃるの、おっしゃるうらやましいクラブもございます。また桑名のロータリークラブは、ここでは会員の随筆、随想をずっと載せてきておる。それがたまりたまったんで、ことしは本にしようと思気込んでいるんだといううらやましいお話をうけたまわりました。長野県の伊那のロータリークラブは会員の随想を誕生日の月に、来月はあんなの誕生の月だからというので、なかば強制的にやっているが、案外効果があがっていますというようなご報告をちょうだいしています。それから尾西のロータリークラブでは、案外知られていない自分たちの住んでいる郷土の史跡とか、あるいは名所といったものにたいする関心がない、これを一つ載せようといまやっているとお

っしゃいました。写真にしたり文章にしたり、いま調査をしたり。これもたいへんご苦心なことであると感心をいたしました。

最後に広報でございますけれども、名古屋の西ロータリークラブの広報の方がご説明いただきました。ここも、あいった大きなクラブには、都市の古いクラブには、当然報道関係、あるいは新聞関係、その他の報道関係に従事していらっしゃる方がいらっしゃいますので、そういった方をたくみに利用、といっている悪いけれども、お願いをして、たとえば図書館に本を寄付する。あるいは交通災害防止のためにサクを設けたというようなロータリーの行事があれば、すぐそれを写真に、また報道に載せていただくことができるうらやましいお話でございましたけれども、岡崎のロータリークラブからは、どうも地方、いわゆる小都市ではなかなかロータリーにかんする記事は載せてくれんが、なにかいい手はないかというお話がございまして、それにはたえず新聞社の方と連絡というようなお話も出ましたが、一つおもしろいことは、小都市では市の広報を利用することによって大いにやれる。広報が二回くらい出る月があるから、これを利用しなさいというアドバイスをいただいたことがございます。それから岐阜のロータリークラブでは、四つのテスト特別委員会を設けて、これを各事業場に特別委員の方が四つのテスト教室と銘打って事業場へ行ってロータリーの広報に当たっていらっしゃるということでございます。

ともあれ私が最初にいいましたようにリーダーの身になってちょうだいということが、ほんとうに実現されて、まことに真剣なご協議の中にも、ほのぼのとした春風たいというたる気分のみなぎる中で協議が進められ、第一番目の雑誌にかんしましては、いまほどのクラブもうまく利用している。第二番目の会報にかんしましては、みなさんが熱血をしばって、どこのクラブでもやっていたら。第三番目の広報にかんしましては、われわれロータリアン一人一人が、ロータリーの広報屋であるんだ、こういった気持ちを持っていらっしゃるのがありありと浮び、ただ残念なのは貴重な時間を拝借しながら、どうもリーダーがまずかったことを心からおわびを申し上げまして私の報告といたします。ありがとうございました。



▷社会奉仕部会

リーダー

四日市R.C.

三 宅 省 三 郎

私三宅でございます。社会奉仕部門を担当いたしました。この社会奉仕部門と申しますと、およそロータリアンが、社会奉仕委員会の委員になりますれば、社会になにかを奉仕しなければおられない。そういう部門でございます。各クラブとも社会奉仕に随分努力し、いろいろ実行していることが多くございます。そこで社会奉仕活動のとうとい敬愛な話や、今後どういうことをやるつもりか、あるいは今後の奉仕活動のあり方がどうあるのか、また活動上にどんな悩みがあるのか、などについて意見の発表がございましたので、協議いたしました。

第1の問題は、育英、奨学資金。この事業につきましてまず四日市クラブから発表がございました。四日市クラブは、昨年末創立30周年記念事業といたしまして会員全員から1人あたり月額1千円、3年間に3百数十万円の拠金、この拠金を会員たる銀行によって運営されました。その収益をもって実業学校、高校の成績優秀なる生徒、それは教育委員会と協議のうえ選択決定した生徒を毎年10名継続して育英していくということでございます。高岡のクラブ、松阪、伊勢、桑名さんからもそれぞれこれと同様な発表がございました。それぞれ資金が3百万円以上をお集めのようでございます。また西尾クラブさんが3年も前から、こういうことを実行しておるんだというお話ですけど、ところが名古屋南クラブさんから、こういうご発言がございました。青少年部会、インターアクトとの関係はどうなっているのか、それからアフターケア、金を出すのはいいけれど、あとはどうなっているのかと痛いご意見でございました。アドバイザーの九鬼さんから青少年部会、イ

ンターアクト部会それぞれ関係がある。あるんだけれどもそれぞれの部会で、検討されているから、本部会では、協議を継続していったらどうか、こういうご意見でございました。そしてアドバイザー九鬼さんから特殊学級についての意見を聞いてみたらどうかということでもございましたので、うかがいましたんでございます。特殊学級につきましては、七尾、恵那、中津川、高岡さんからそれぞれいろいろ報告がございました。必要に応じまして機械、機具を調達したり、また図書を寄贈したりしたんだそうでございます。上田のクラブさんからは身体障害者の職業補導につとむべきではないかというご意見もうかがいました。次に岐阜西クラブさんでございますが、鼓笛隊の育成の問題でございます。これは私がもう申し上げるまでもなく、昨日みなさま方と一緒に目のあたり鼓笛隊をうかがいました次第でございます。それにはただ頭が下がるだけでございます。

次には都市安全問題、これは九鬼アドバイザーから都市安全問題について、協議を願ったかどうかというアドバイスがございましたので、これをお諮り申し上げたのでございます。人命尊重のために意見を聞くことでございます。これにつきましては津、上田、飯田、伊那、高岡、名張、蒲郡、砺波からそれぞれご意見がございました。中に津クラブさんはいなかの人、とくに婦人は信号があることに気がつかない。道を歩いている人が、気がついたら教えてやればよいのに、日本人にはおせっかいという感覚があるので、全然してくれない。こんなときに、ロータリアンはおせっかいをしようではないかというご意見がございました。また伊那クラブさんでございますが、いままでは運転者中心の運動であったが、歩行者を加えてやるべきである。運転しないものにも交通法規を適用されることを知らすべきである。ベトナム反戦より、交通戦争に勝つことがロータリアン、ロータリアンはこの戦争に勝とうじゃないか、こういうありがたいご発言でございました。かくのごとくいたしまして、交通問題はまさに白熱化しかかったのでございますが、残念ながらバスの出発時間が迫ってまいりましたので、これ以上もはや協議することができなかつた。そういうしだいでもございました。右ちょっとご報告申し上げます。



▷職業奉仕部会

リーダー

各務原 R.C.

加藤 六郎

職業奉仕部会の報告を申し上げます。地区内57クラブ、72名の会員が参加されまして、アドバイザーとしてパストガバナーの山岸さんをお迎えしました。まず討論にさきだちまして一体職業奉仕とはどういうことであるか、この問題をアドバイザーにご説明を願いました。職業奉仕の職業といいますのは、別のことばをもっていえば天職、われわれに与えられた天職である。また奉仕ということは、相手の身になってお互いに助け合っていくことで、思いやりの心をもってつとめることが奉仕である。ま、こういうふうに一応の定義を示されましてから、それでは一体職業奉仕ということは、われわれロータリアンが個人として、どのようにわれわれの各自の職業を生かしていくか、奉仕していくかということが主でございまして、クラブの職業奉仕委員会がどのような仕事をやっておるか、ということは、枝葉末節のことである。すなわち職業奉仕委員会におきましては、個々のロータリアンにたいして奉仕の精神を徹底させ、そしてどのようにしてその実行を促していくかという、むしろ側面から個人のロータリアンの職業奉仕の実現を期するよう促すことが職業奉仕委員会の任務である。的確にわれわれのなすべき仕事を示されたのでございます。

引き続きまして、いろいろと各の職業におきましては、それぞれの奉仕活動がございまして、それでは個人が直接に奉仕活動をするということになりますと、なかなかみなさんが、おれはこういう奉仕活動をしているんだということをご発表になりません。日本人の常といたしまして、なかなか自分のやったこ

とは人に自慢話がしにくい、とこういうような関係もございまして、なかなか捕捉しにくいわけでございます。したがってまず一番われわれの目にふれるものを考えてみますと、個人ロータリアンとしての直接奉仕活動でございますが、無医村およびへき地の無料診断を実施したり、あるいは児童の身体検査、環境調査、こういうことをなさったりあるいは血液型の判定の無料調査をすると、こういうようなことが直接奉仕としては一番表面に現われていることではないかと思えます。それにつきまして金沢の東ロータリークラブ、金沢ロータリークラブではへき地慰問を盛んにおやりになっているようでございます。それからまた松本クラブでは、医師会員の方が自主的に奉仕されまして、会員の健康管理をやる。簡単な人間ドックというようなことでございましょうが、これを行なっております。そしてへき地慰問におきましても、その機会を利用してロータリー精神を理解してもらうようにつとめておる。こういうようなお話でございました。ところが地方の小クラブにおきましては、医師の会員が非常に少ない。こういう関係もありますので、一クラブではなかなかへき地慰問だとか、児童の身体検査にまでは手が届かないんじゃないかと、そこでちょうどたまたま岡田ガバナーがご来場されまして、金沢では大学等へ依頼して実施しているクラブもある。それからへき地における衛生環境を整備する必要があるし、また医学知識の普及、向上等の啓発にもつとめておる。こういうようなことを強調されました。

それではクラブの奉仕活動といたしましては、どのようなことがあろうかと思ひまして、事前に90クラブにたいしまして、地区内のクラブにたいしましてアンケートをお願いしたわけでございます。そうしましたらそのうち、3分の2のクラブから、ご返事をいただきましたので、短時間でございまして、これをまとめまして、クラブとしての職業奉仕委員会がどのような活動をなすっていらっしゃるかということをもとめてみたんでございますが、まず第1に、事業場の訪問であります。

す。これは非常に最近ふえてまいりまして、昨年よりもうんと数がふえてことしは15クラブが実施なすっておりますのでございます。この場合に合わせて、優良従業員、永年勤続の優良従業員を表彰するということを合わせて行なっていらっしゃるクラブが多いようでございます。

次に職業奉仕の中で一番重点をおかれております4つのテストの研究でございますが、岐阜の坂倉さんがちょうど委員長をなさっていらっしゃるしまして、その席でおうかがいしましたところ、昭和30年に岐阜公園の中に4つのテストの記念碑をつくられてまして、そしてこれの普及に非常に熱心につとめられてまして、翌31年にはこの4つのテストの創始者でありますハーバート・テラーご夫妻をお招きいたしまして、この記念碑を見るためにわざわざ岐阜までおいでになったそうでございます。そして岐阜市を世界で2番目の4つのテストの都市として宣言し、この運動を着々推進してこられました。現在でもさきほどのお話にございましたが、4つのテストの4委員会をつくりまして、また4つのテストの教室を開設して、職場における講演会とか、座談会を催して啓蒙につとめておられます。それからアドバイザーからちょっとお話が出ましたんですが、この4つのテストの実例と申しますか、カラースライドを作製して発表されておるそうでございますが、まだ見た方がないそうでございます。それから中・高校生への職業助言、これは青少年の職業選択を援助する活動でございまして、高山西クラブにおきましては、生徒20人に会員1人の割合いで先生と生徒がいっしょになりまして、生徒に就職の模擬テストを行なう、そうして就職相談に応じているような事例もございました。また高岡クラブでは4つの小委員会、職業奉仕委員会の中に4つの小委員会をつくられてまして、4つのテストおよび職業教授、それから競争相手の関係、同業組合の関係など、こういうような小委員会をつくられて活動されているようでございます。

それから中小企業振興につきましては、名古屋北ロータリークラブから生産性の向上に

かんする懇談会を開いたり、あるいは会員職場内における助け合いのロータリーサークル、これを職場の中の従業員の方に助け合いのロータリーサークルをつくっていただく。それから希望会員の職場における出席率競争、これを約半数の会員がやっていたらいいんですが、出勤率が非常に向上いたしまして、能率が改善されたこと。

それから他の団体と共賛あるいは協力して行なう奉仕事業でございまして、これは警察ならびに交通安全協会と協力いたしまして、多治見は講習会をやっているようでございます。それから労働基準監督署と協力して、職場における災害防止、あるいは安全運動を行なっているのは大垣ロータリークラブ、それから保健所の活動に協力してポスターなどの配布をしているのは、稲沢クラブ。

なおそれらの分類に属さないものとしたしまして、名古屋守山ロータリークラブでは、職業奉仕の採点カードというものによる会員の活動状況の調査がございまして、これは会員の奉仕活動の特徴を取り入れまして、奉仕の結果の反省をまとめて、それをプリントにして会員に配布して研究を進めておる。こういうことでございます。

最後にアドバイザーは、私は職業奉仕の身になって思いやりの心を持って考えていくことに尽きる、と思うところいうふうに結んでこの討論会を閉じたわけでございます。約1時間45分にわたりましてきわめて熱心な協議を開いたことを厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

▷渡辺大会幹事より訂正

さきほどの職業奉仕部門の件につきまして、岐阜県の分区代理でいらっしゃいます坂倉又吉君からご訂正の申し入れがありましたので、ちょっとお伝えします。

さきほどのご報告では、岐阜市を4つのテストにということで、4つのテスト宣言を行なったというご報告がございましたけれども、これは最終の理想ではあるけれども、現在はそこまでいっていない。現在のところでは岐阜クラブとして、その会員および職場に4つのテストをということをモットーにしまして4つのテストクラブという宣言をやっておられるんだそうでございます。ちょっと付け加えます。



▷青少年奉仕部会

リーダー

魚津 R.C.

金 川 四 郎

青少年部門につきましてご報告申し上げます。出席になりましたクラブは62クラブ、出席者は91名でございました。アドバイザーとしましてこの道のベテランでいらっしゃる内藤パストガバナーをお迎えして進められたわけでございます。青少年問題は戦前といわず、戦後を問わず未来永久に非常に解決しにくい問題でございますが、またこれを解決に導くようにしなければならないのは、われわれの役目でございます。本大会のキャッチフレーズでございますように、物は有限、心は無限、ロータリーの生命は無限ではございますが、われわれロータリアンの時間は有限でございます。この有限の時間をいかに有効にして青少年の育成、教育に当たるかということは大きな問題でございます。1ロータリークラブ・1インターアクトクラブというのが現在の岡田ガバナーのご指示でございます。が、インターアクトクラブにつきましては、別部門がございましたので、一般青少年の問題について進めたわけでございます。まず親子の話し合いが足りないんじゃないか、意見の交換が足りない、意思の疎通がじゅうぶんでない。思想の確立が不安定である。考えるバイタリティが足りない。青少年に哲学を与える。マッチした哲学を与えなければならぬ。また働く勤労青少年問題をいかにするか、青少年の健全育成には国民会議とか、県民会議、あるいは各県には青少年問題協議会がございしますが、これはおもに企画立案が主であって実行機関でないから思うように進んでいない。青少年の自覚を強く求めるということは最近叫ばれるようになっております。また環境をよくしてやる。青少年の年齢層の重点をどこに置いたらいいか、交通事故防止にたいする交通の道德問題、このようなことをまずご提案、ご発表になったわけでございますが、主としまして岐阜クラブ、岐阜

西クラブ、大垣西クラブ、一宮クラブ、名古屋守山クラブ、尾西クラブ、岡崎クラブ、西尾クラブ、名古屋南クラブ、名張クラブ、松本クラブ、富山南クラブこのようなクラブからご提案、ご発表がございました。

子供会を助長育成して、おはようとか、今日はというあいさつ励行運動を繰り返したらどうだ、それにたいして親が実行していないから、子どもが抗議するようになった。しかし、この子ども会を育成して明朗健全にしてやるような運動を繰り返したために、高山では非行少年が減少したということが実例をあげておられました。ところが学校の先生が、どうもやり方がまずい、この不満が非常に多いございまして、学校の先生が、自分のこの学校では、頭を下げなくともいいというような先生もあって困る。富山県では明るい茶の間運動というものが展開されておりますが、第3の日曜に家庭の日を設置いたしまして、その結果、30%はもぐっている。30%は不明である。30%は全然やっていないという結果が発表されておりますが、この親子だらんということは非常に大事である。親が勇気をもって割り切って教えてやり、話してやる必要がある。子どもとの話し合いに、非協力なのは父親である。世の中の父親ががんばれという声もございします。子どもに尊敬されるような父であり、母であり、子どもから敬れるようにやらなければならぬ。いろんなことはおとなみずからが実行しなくてはならぬ。また学校の先生に宗教心を植えつけることによって、子どもの宗教教育ということをやらなきゃならぬのじゃないか、知識は学校で教えるが、訓練、しつけというものは幼い年齢層から根気よくやるべきである。といういろんな問題がございまして、交通道德につきましては、おとなみずからが右側通行し、横断歩道を歩くようにすべきである。といういろんな問題がございまして、また一宮では働く青少年が非常に多いので、明るい青少年都市宣言を出し、一宮青少年協会をつくらせていろいろリーダーの研修会を開いている。最後に三重県の伊勢に、かわいくば、1つ叱って、2つほめ、3つ教えてよい子にせよという標語がありましたが、年齢によっては2つ叱って、2つほめ、2つ教えてよい子にせよという場合もあり得るんじゃないかと思うわけでございます。青少年に夢を持たせ、気長にやらなくては、青少年教育はできないという結論でございました。どうもありがとうございました。



▷国際奉仕部会

リーダー

名古屋 R.C.

堀田 一 雄

昨日、大垣共立銀行におきまして、アドバイザーとして盛田パストガバナーのご臨席を得まして非常に熱心に協議をしたわけでございます。実はこの仕事は非常に重要かつ広い場面にわたっておりますので、問題を2つにしましたのでございます。1つは、割り合いに外人の方がおいでになりませんクラブにおいて、国際奉仕というものをどういうふうにやったらいいかという問題と、もう1つの問題は西ドイツのマッched地区を今後どういう具合に交歓をしていったらいいか、とこういう2つの問題にしばらくして討議したのでございます。

この仕事をする前に、1カ月ほど前に5つの質問を360区の89クラブにご質問いたしまして、その返事を大部分のクラブからでておるのでございます。第1のいま申しました問題にたいして、詳しく詳しく、あなたのクラブはコンタクトクラブ、またはシスタークラブというものがあるか、あればその名および国別、実績を知らせてくれ、そのほか国際親善にはどんなことをやったらいいか、それから国際情報というものにたいして、どんな活動をしておられるか、国際学生交歓というものにたいしてどんな用意があるか、ということをおたずねし、2の問題にたいしては、直接西ドイツのことにについておたずねしたわけでありまして。時間のつごう上結論から申してまいります。答え、昨日のいろいろご熱心なご討議の結果を見ますと、第1の問題、すなわち割り合いに外人のこないところではどういうことをやったらいいか、大きくいえば国際理解を深めればよいという答えになりますが、これは第1に、もしコンタクトクラブのないところでは、コンタクトクラブを世界のどこかに開いてくださったらばたいへん

いいではないかということが1つでした。その次の問題は国際奉仕の方々ばかりでなしに、ロータリアンというものは、国際的の視野を広めていただきたい。そのためには、外国語の勉強、何語でもよろしいから1つ外国語を勉強していただきたいということで、その結果、ロータリーの外国雑誌、さきほどでしたロータリアンであるとか、これはアメリカであります、ドイツのロータリエル、これがドイツのロータリーの友であります。こういうものをお読みになる、あるいはそれに関係しましたいろいろのご講演をお聞きになるというように、国際的の視野を広める。それからロータリーの子弟の方々も、同様につとめて、これにたいしては、弁論大会をやるということもいいでしょうし、その他のいろいろの語学の練習をいたしまして、いまのおとうさんのお読みになった本を、雑誌を読んでいただく、という具合に国際的の理解を広めるということが、外人の割り合いこないところではやり得ることではないかというような結論に達したのでございます。

第2の西ドイツの方にたいしましては、マッチしていられないクラブは2つ、もしくは3つ寄りまして、1つの提携委員会をつくっていただいて、その方の責任ある方を決めていただく。第2はマッチしていられないところで、まだやっておいでにならないければ1つぜひ名簿の交換をしていただく。そしてそのうちの会員が、できれば、その方々ばかりで委員の方だれもが、同職の方がなかようになっていただくことが大事でなかろうかというような結論に達しました。

途中で、そのうちで2、3のおもしろいことがあります、1つの事例は非常に立派な実績をいままで、コンタクトクラブでは20区あります。それからシスタークラブというのが数市あります。そのほか、たまたまこういうことになったんです。青少年のいまの教育にたいしまして、インターアクトとともに、こういうことをやっていただいたら、ロータリアンの子弟の方のご教育を、ロータリー精神の昂揚もやっていただいたらどうか、時間の関係上私この辺でとどめておきたいと思っております。たいへん失礼をいたしました。



▷インターアクト部会

リーダー

岐阜 R.C.

杉山 新 七

今大会におきましてはじめてインタアクト部会が独立で開かれたわけでございます。これはおそらく岡田ガバナーの1クラブ、1インターアクトのご理想にたいします配慮だと思いますが、また会員のみなさま方も、参加クラブ77クラブ総参加人員96名という多きにわたった会合でございました。そして終始熱心に討議が行なわれたわけでございます。その概略を申し上げますと、まず第1番に例会のあり方、それから女子会員の問題、それから国際理解の問題、その3つの問題に分けて、最初戸田パストガバナーから今日までのインターアクトの活動につきましてのご報告をちょうだいいたしました。ご説明を承りました。その後この3つの問題について、討議にはいったわけでございます。

まず第1番に岐阜クラブの方から、例会をもう少しロータリーのようにルールのはっきりしたものをつくって、そしてその活動を明確化してはどうだろうかというご発言があったわけでございます。これにたいしまして豊田の豊田クラブからいろいろ例会のルールも、結構だけれどもやはりインターアクトクラブというものは、ケースバイケースで例会を持つことの方がベターであろうではないか。例えば豊田におきましては、例会の席上で各班ごとにいろいろの研究グループに分かれている。そしてその地域の環境の整備とか、あるいはそれらの調査研究ということを中心にして活動を行なっているのです。その例会のときに、次の例会までの予定をたて、またその次の例会には、その結果を持ち寄って発表し合う。そうすることによって例会が非常に充実して行なわれておる。こういうまことに貴重なお話を承ったのでございます。またそのほか例会だけではなしに、インターアクトの生徒を、ロータリアンの家庭に4、5名ずつのグループをつくって招き寄せる。そして食事をともしながら会員の職業の現状を目のあたりに見てもらう。そして物の考え方等についてじゅうぶんヒザをまじえて話し合うということがいちばん奉仕の理想を植えつける点

においては近道である。また非常にそれが効果をよんでおる。こういうご発言がございました。またその家庭への呼び方については、名古屋クラブからどんなふうにして呼んでいらっしゃるかとこういう具体的な質問もたくさんございました。時間がございませんので省略させていただきますが、次に男女の問題であります。これにつきましては、戸田パストガバナーから、過日9月29日行なわれましたインターアクト、地区のインターアクト委員の会合の席上、中村米平 R.I. のインターアクト委員からのご説明を戸田パストガバナーがなさいました。これによりますと、男女を区別するというにつきましては R.I. の本部の方においては、あくまでインターアクトクラブというのは、男子会員のみであるんだ、とこういう考え方を持っておる。これを女子も正会員にということについては、今後なお非常な時間を必要とするであろう。という中村さんのお話しをお伝えになったわけでございます。これにつきましては、岐阜クラブの方から、男女会員の件については、学校内において男女双方の立ち場にたいする安定感がないから、もう少し男女の問題をはっきりさせた方がいい、こういうご発言があったのでございます。これにたいしまして岡崎、飯田南、松本、一宮北、豊橋各クラブから男女あくまでも同一会員とみなしてほしい。そうすることがインターアクトの発展のために非常に役立つおるんだ。ここで男女をはっきり区別するということは非常に問題であろう。こういうご発言があったのでございます。ちょうどそこへ岡田ガバナーがおいでになりまして、お助け舟をちょうだいしたのでございます。岡田ガバナーは、中村 R.I. 委員がおっしゃっておいでになるように、やはり男子インターアクトクラブについては、男子会員のみとすべきである。ただし女子が同じ目的のために協力がしたいという場合は別の名前を持って組織するのが非常にいいのではないかと、こういうアドバイスをいただいたのでございます。

それから最後に、国際理解の問題につきまして、戸田パストガバナーから、1つのインターアクトの生徒の交換計画についての試案が示されました。これにつきましては、各クラブのみなさま方、ご出席のみなさま方全員がぜひこのインターアクト生徒の交換について、R.I. のロータリー財団の方から援助をいただけるよう努力してほしい。満場一致のみなさんのご希望でございましたので、それをつけ加えまして報告にかえさせていただきます。ありがとうございました。

1966国際ロータリー 第360地区年次大会決議事項

Resolutions at 1966 Annual R. I. 360 District Conference.

決議第1号 国際ロータリー会長代理派遣 に対し感謝の件

国際ロータリー会長 Richard L. Evans氏は、東京元ガバナー宮脇富氏を1966年国際ロータリー 360 地区年次大会に派遣して、会長にかわり祝意を表し、かつ懇篤なるお言葉を伝えられた。本大会に会合した 360 地区の全会員は、国際ロータリー会長の御厚志と御高配に対し、また宮脇氏が令夫人とともに出席して有益なるメッセージを賜わり、満堂に深い感銘を与えられたことに対し、感謝の意を表することをここに決議する。

決議第2号 エヴァンズ会長の1966～67年 度実践目標達成に協力の件

国際ロータリー会長 Richard L. Evans氏が会長就任の際提唱された1966～67年度10カ条の実践目標を達成すべく努力することをここに決議する。

決議第3号 ホストクラブ並びに協力団体 に対し謝意を表する件

本地区大会が未曾有の成功裡に開催されたのは、ひとえにホストの岐阜南クラブ会員ならびにその家族の献身的努力と、県当局、市当局、自衛隊および警察当局、ならびに各種青少年団体の御理解ある御援助の賜物である。

よって本大会は岐阜南クラブとこれら関係諸団体の御協力と御支援に対し心からなる感謝の意を表することを決議する。

決議第4号 国際ロータリー 360 地区直前 ガバナー神野太郎君に対する 感謝の件

国際ロータリー 360 地区の発展は年ごとに著しいが、とくに1965～66の1カ年の発展は特筆に値いするものがある。この1年間、全力を傾注してこの発展をなしとげられた直前

ガバナー神野太郎君の御努力に対し、本大会は深甚なる感謝の意を表することを決議する。

決議第5号 66—50決議案に関する件

本年のデンバー国際ロータリー大会は、われわれの提出した66—50決議案を規定審議会において特別委員会の代りに常置の企画委員において検討せしめることに修正し、大会はこれを採択した。

国際ロータリー理事会は、その決議に従い、その第1回理事会において国際ロータリー理事会内に小委員会を設け、その検討にまこととした。

よって本大会は国際ロータリー理事会に対し、66—50決議案の迅速なる処置につき深甚なる感謝の意を表する。なお小委員会に対し現行の理事定員14名を17名に改め、定款第5条第1節を改正し、その配分に関しては同細則第10条、第3節の改正に考慮を払うよう進言することをここに決議する。

決議第6号 アジア地区における理事推薦 手続に関する件

国際ロータリー細則第10条第3節(イ)は、理事被指名者の選抜を4種類に分けて規定し、アジア地域においては、国際大会においてそれぞれの地帯、地理的集団または地域の選挙人による投票をなすべきものと規定している。

しかるに、国際ロータリー大会において、各クラブよりの選挙人が投票する方法には幾多の支障があることが発見された。

よって本大会は、アジア地域における現行の理事候補者推薦の方法を郵便投票に変更するため、アジア地域よりの理事候補者推薦に関し、国際ロータリー細則第10条第3節(イ)の規定にもとづき、その方法を改めて地域内クラブの投票に問うよう理事会に懇願することをここに決議する。

決議第7号 国際ロータリー会長指名推薦委員会に関する件

国際ロータリー細則第10条第2節は、会長指名委員会の構成を規定しているが、その規定は、近來世界第3位のロータリークラブとロータリアンを有するほどに発展した日本に対し、また地理的地域として第4位に向上したアジア地域に対し、実情に即しないこと甚だしいといわざるをえない。これは4つのテストをモットーとする国際ロータリーとしては理解に苦しむ規定である。

よって本大会は、国際ロータリー理事会に対し、細則第10条第2節の再検討を要請することをここに決議する。

決議第8号 国際ロータリー大会招致に関する件

1961年の東京大会は空前の盛況裡に絶大な効果をおさめた。

わが国が国際ロータリー界に占める地位は年々上昇の一途をたどりつつある。この勢をもってすれば、1970年頃には、そのクラブ数およびロータリアンの数において、アメリカ合衆国につぐものとなることは充分想像しうる。

この状態下におけるわが国のロータリアンの指導性はますます高まり、その責任もいよいよ重大となって来る。したがってわれわれは国際ロータリーの発展に寄与しなければならないことは必至である。よって本大会は、1974年またはその後の偶数年における国際大会を日本に招致し、東京ロータリークラブにその主催を懇請し、大会招致に関する一切の手續を依頼することをここに決議する。

決議第9号 岐阜市へ記念品贈呈の件

本地区大会が未曾有の成功をおさめ、参加ロータリアンがその参加の目的を完全かつ能率的に果たし、会期間を快適にすごすことができたのは、ひとえに岐阜市当局および岐阜市民各位の御理解の賜物である。よって本大会に出席したロータリアンは、たがいに抱金して本大会を記念するため岐阜市に記念品を贈呈することをここに決議する。

ガバナー 談話室 Governor's Message

◇敬 弔

赤 松 喜 一君	刈 谷	7月21日
熊 沢 龍 太 郎君	四日市	8月18日
小 木 曾 史 郎君	恵 那	8月18日
二 塚 保 之 輔君	魚 津	9月8日
水 野 義 雄君	多治見	9月21日

この方々の、ご逝去を悼み、謹しみてご冥福を念じます。

◇飯田南R.C.正式承認

飯田南（仮）クラブは9月21日付を以ってR. I. に正式加盟を承認されました。

◇関R.C.正式承認

関（仮）クラブは10月6日付を以ってR. I. に正式加盟を承認されました。

◇例会日変更お知らせ

戸倉上山田R.C. 11月より例会日を月曜日に変更しました。

◇特別代表任命

吉田茂平君（金沢西R.C.）松任クラブ結成

◇出席率訂正

8月度碧南クラブ出席率96.00%となっていますが99.27%が正当につき訂正、従って順位も第10位となります。

◇幹事交替

珠洲 R.C. 幹事矢鋪良吉君病気のため退任
泉谷七郎君が幹事に就任しました。

◇11月の公式訪問予定

11月4日（金）	瑞浪R.C.
11月5日（土）	恵那R.C.
11月7日（月）	中津川R.C.
11月8日（火）	土岐R.C.
11月9日（水）	多治見R.C.
11月10日（木）	多治見西R.C.
11月11日（金）	名古屋港R.C.
11月16日（水）	各務原R.C.
11月17日（木）	岐阜南R.C.
11月18日（金）	岐阜R.C.
11月19日（土）	岐阜長良川R.C.
11月24日（木）	高山R.C.
11月25日（金）	高山西R.C.
11月26日（土）	下呂R.C.
11月28日（月）	岐阜西R.C.
11月29日（火）	大垣西R.C.
11月30日（水）	大垣R.C.

R. I. 第360区 9 月度出席率一覽表

順	クラブ名	会員数	%	例会数	前月 順位	前月 会員数	増減	順	クラブ名	会員数	%	例会数	前月 順位	前月 会員数	増減
1	岐阜長良川	34	100.00	4	10	34	0	48	上野	60	94.59	4	67	61	- 1
1	飯田南	21	100.00	1	0	0	+21	49	美濃	31	94.58	4	70	31	0
1	駒ヶ根	54	100.00	4	1	54	0	49	富山南	36	94.44	4	42	36	0
1	桑名	49	100.00	4	13	49	0	51	各務原	49	94.38	4	50	49	0
1	松本南	53	100.00	4	12	53	0	51	高山	42	94.38	4	71	42	0
1	高岡	57	100.00	4	14	57	0	53	名張	44	94.32	4	69	44	0
1	豊橋北	61	100.00	4	1	61	0	54	田原	34	93.96	4	75	32	+ 2
1	豊橋南	24	100.00	4	41	24	0	平均 93.95							
1	犬山	48	100.00	4	1	46	+ 2	55	岡谷	44	93.79	4	27	44	0
1	鈴鹿	40	100.00	4	16	39	+ 1	56	名古屋港	37	93.35	4	62	26	+11
11	多治見	63	99.62	4	7	65	- 2	57	中津川	48	93.33	4	48	48	0
12	瀬戸	41	99.49	4	28	41	0	58	上田	51	93.18	4	39	52	- 1
13	西尾	45	99.44	4	21	45	0	59	金沢	91	92.90	4	53	87	+ 4
14	松阪	68	99.30	4	20	68	0	60	金沢東	88	92.90	4	57	89	- 1
15	江南	34	99.26	4	45	34	0	61	下呂	31	92.74	4	66	31	0
16	土岐	57	98.69	4	1	57	0	62	岐阜	80	92.54	4	54	80	0
17	蒲郡	56	98.66	4	15	54	+ 2	63	名古屋北	63	92.47	4	33	62	+ 1
18	碧南	55	98.64	4	10	55	0	64	名古屋南	72	92.23	4	51	69	+ 3
19	豊川	38	98.61	4	30	38	0	65	小諸	29	92.22	4	78	29	0
20	岡崎	53	98.53	4	18	53	0	66	津	61	92.21	4	34	61	0
20	名古屋東	51	98.50	4	1	52	- 1	67	諏訪	49	91.96	4	65	49	0
22	岐阜西	64	98.44	4	36	62	+ 2	68	七尾	47	91.93	3	74	47	0
23	小松	49	97.96	4	37	49	0	69	半田	69	91.84	4	56	66	+ 3
24	豊橋	66	97.96	4	17	66	0	70	尾西	56	91.82	4	49	56	0
25	津島	49	97.91	4	32	49	0	71	高山西	24	91.48	4	82	24	0
26	四日市	97	97.90	4	33	96	+ 1	72	四日市北	35	91.43	4	63	36	- 1
27	名古屋西	104	97.82	4	40	104	0	73	名古屋	191	91.37	4	60	189	+ 2
28	飯田	57	97.77	4	9	57	0	74	飯島	23	91.30	4	84	24	- 1
29	一宮北	51	97.55	4	23	51	0	75	津南	31	91.12	4	73	30	+ 1
30	輕井沢	30	97.50	4	24	30	0	76	魚津	49	91.05	4	72	48	+ 1
31	岡崎南	38	97.37	4	8	38	0	77	富山	82	90.45	4	61	81	+ 1
32	多治見西	41	97.25	4	55	35	+ 6	78	大町	36	89.58	4	68	36	0
33	刈谷	52	97.10	4	18	51	+ 1	79	稲沢	35	89.28	4	58	35	0
34	安城	47	96.85	4	25	47	0	80	大垣	58	88.84	4	76	58	0
35	松本	63	96.83	4	52	63	0	81	伊那	43	86.08	4	83	43	0
36	岐阜南	67	96.27	4	29	64	+ 3	82	長野	48	85.13	4	81	42	+ 6
37	常滑	28	96.22	4	22	26	+ 2	83	辰野	33	84.60	4	79	33	0
38	大垣西	39	96.03	4	38	39	0	84	輪島	35	84.28	4	77	35	0
39	一宮	68	95.90	4	26	68	0	85	朝日	31	83.86	4	87	31	0
40	鳥羽	36	95.83	4	58	36	0	86	一色	32	83.60	4	80	32	0
41	瑞浪	48	95.74	4	64	48	0	87	山中	36	81.94	4	86	34	+ 2
42	豊田	44	95.45	4	31	44	0	88	丸子	31	75.80	4	88	31	0
43	恵那	43	95.35	4	46	43	0	89	戸倉上山田	21	72.30	5	85	21	0
44	伊勢	58	95.26	4	47	58	0	90	珠洲	34	67.86	4	89	35	- 1
45	砺波	48	95.17	4	44	48	0	合 計 4,496 8,455.24 4,427 + 69							
46	名古屋守山	44	94.89	4	35	44	0								
47	金沢西	43	94.77	4	41	43	0								